

島根益田信用組合の経営内容と地域貢献活動について(23 年 9 月末 現在)

《平成 23 年度上期の業績と仮決算》

ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

本年もここに「島根益田信用組合の経営内容と地域貢献活動について」を作成いたしましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当組合は、信用組合の特性を発揮し、地域社会とのふれあい・絆を大切にしております。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

島根益田信用組合
理事長 大畑寛明

1. 損益の状況

売上高にあたる経常収益は、市場金利の低下に伴う資金運用収益の減少などにより、前年同月比 21 百万円減少(△6.87%)して 2 億 87 百万円となりました。

この減収を主要因として、資金調達費用などの経常費用の減少もありましたが、業務純益 前年同月比 14 百万円減少(△26.57%)の 40 百万円、コア業務純益 前年同月比 10 百万円減少(△20.37%)の 40 百万円、経常利益 前年同月比 14 百万円減少(△27.18%)の 38 百万円となりました。

以上の結果、最終的な純利益については、前年同月比 15 百万円減少(△35.95%)して 28 百万円となり、平成 23 年 9 月末の仮決算は減収減益の結果となりました。

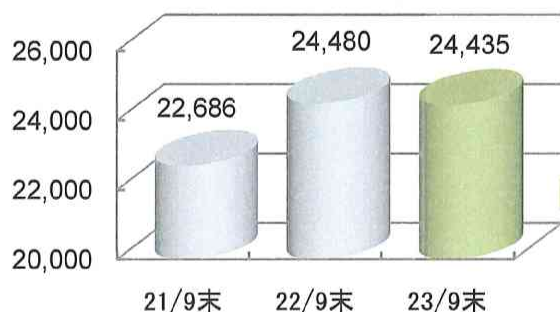


2. 預金・貸出金の状況

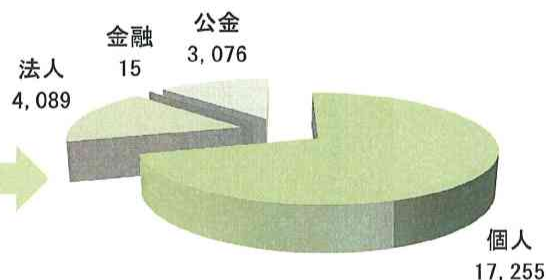
(1) 預金

預金残高は、平成 22 年 9 月末 24,480 百万円から 45 百万円減少し、平成 23 年 9 月末 24,435 百万円となりました。預金残高の減少は、公金の 607 百万円減少によるもので、地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターともいべき個人預金は 205 百万円増加、法人預金についても 356 百万円増加と好調に推移しております。

預金残高の推移 (単位：百万円)



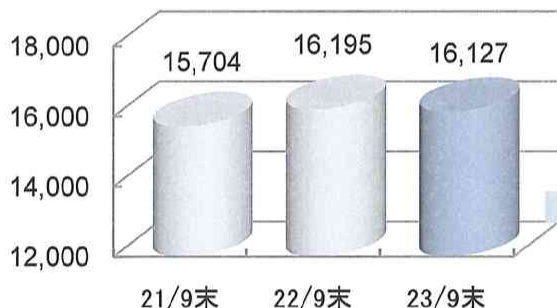
預金者別残高の割合 (単位：百万円)



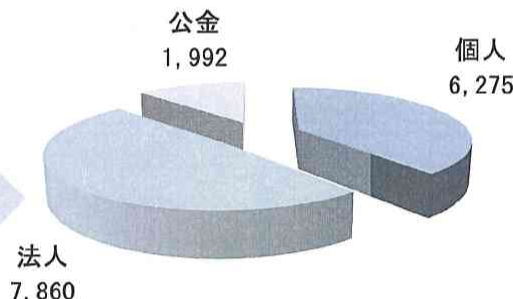
(2) 貸出金

貸出金残高は、平成 22 年 9 月末 16,195 百万円から 68 百万円減少し、平成 23 年 9 月末 16,127 百万円となりました。貸出金残高の減少は、公金の 248 百万円の減少や個人貸出が 178 百万円減少したことによるもので、地域経済を支えている法人向け事業性貸出は 358 百万円増加、中小企業の資金繰りの円滑に積極的に取り組んでいます。

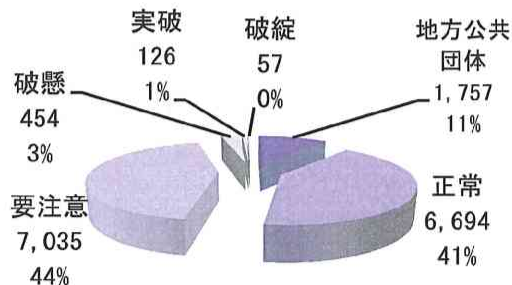
貸出金残高の推移 (単位：百万円)



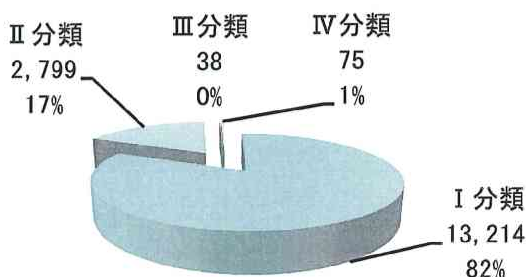
貸出先別残高の割合 (単位：百万円)



債務者区分別貸出金 (単位：百万円)



分類貸出金 (単位：百万円)



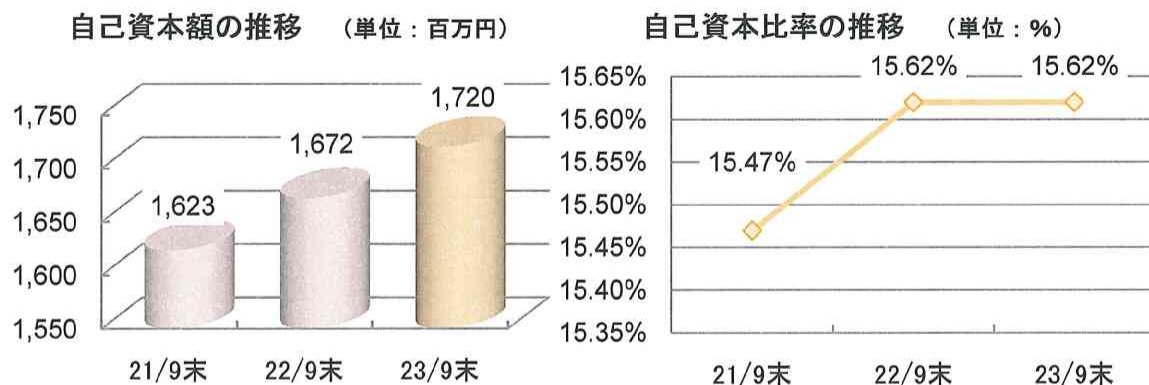
貸出金業種別残高・構成比

単位：百万円

	残高	構成比
製造業	902	5.6%
農業、林業	218	1.4%
漁業		
鉱業、採石業、砂利採取業		
建設業	2,942	18.2%
電気、ガス、熱供給、水道業	44	0.3%
情報通信業	26	0.2%
運輸業、郵便業	362	2.2%
卸売業、小売業	1,882	11.7%
金融業、保険業	230	1.4%
不動産業	724	4.5%
物品賃貸業	4	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業		
宿泊業	61	0.4%
飲食業	523	3.2%
生活関連サービス業、娯楽業	77	0.5%
教育、学習支援業	2	0.0%
医療、福祉	84	0.5%
その他サービス	1,470	9.1%
その他の産業	109	0.7%
地方公共団体等	1,912	11.9%
個人(住宅・消費・納税資金等)	4,545	28.2%
合計	16,127	100.0%

3. 自己資本の状況

自己資本比率は、平成 22 年 9 月期の 15.62%と同水準の 15.62%となり、国内で業務を行う金融機関の基準である 4%の約 4 倍という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である 8%をも上回る高い水準となっており、健全な経営内容を誇っています。



単位: 百万円				
	21 年 9 月末	22 年 9 月末	23 年 9 月末	
自己資本額 (A)	1,623	1,672	1,720	
基本的項目 (Tier1)	1,557	1,605	1,651	
有価証券評価差損 (△)	11	—	—	
補完的項目 (Tier2)	65	66	68	
補完的項目不算入額 (△)	22	20	19	
リスク・アセット等計 (B)	10,489	10,705	11,008	
自己資本比率 (A)/(B) × 100	15.47%	15.62%	15.62%	

4. 不良債権の状況

金融再生法で定められた開示債権額は、22 年 9 月末の 780 百万円から 28 百万円減少し、23 年 9 月末 752 百万円となりました。総債権額に占める開示債権額の割合(不良債権比率)については、不良債権額の減少によって、22 年 9 月末 4.81%から 0.16%低下し、23 年 9 月末 4.65%となりました。

なお、23 年 9 月末の開示債権額 752 百万円は担保、保証等、引当金による保全額 721 百万円によって、その債権額の 95.87%はカバーされております。

単位: 百万円			
	22/9 末	23/9 末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	253	197	△ 56
危険債権	427	454	27
要管理債権	100	100	0
開示債権 計 A	780	752	△ 28
正常債権	15,454	15,409	△ 45
合 計	16,235	16,162	△ 73
担保・保証等 B	635	588	△ 47
貸倒引当金 C	123	133	10
保全額合計 D=B+C	759	721	△ 38
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	97.30%	95.87%	△ 1.43%

総債権額 E	16,235	16,162	△ 73
不良債権比率 A/E	4.81%	4.65%	△ 0.16%

5. 財産の状況

資産・負債及び組合員勘定

単位:千円

(資産の部)	22年9月末	23年9月末	(負債の部)	22年9月末	23年9月末
現金	350,149	407,636	預金積金	24,480,975	24,435,807
預け金	7,755,633	7,668,961	当座預金	220,535	329,367
有価証券	1,625,998	1,816,117	普通預金	6,834,959	7,400,629
国債	425,357	424,303	貯蓄預金	72,666	76,106
地方債			通知預金	562,000	
短期社債			定期預金	15,623,753	15,507,706
社債	1,027,371	924,499	定期積金	1,141,678	1,092,224
株式	75,058	69,889	その他の預金	25,382	29,772
その他の証券	98,212	397,426	借入金		
貸出金	16,195,075	16,127,029	その他の負債	106,575	76,589
割引手形	60,855	111,627	賞与引当金	9,089	9,799
手形貸付	264,095	378,480	退職給付引当金	80,467	74,564
証書貸付	14,072,694	13,999,433	役員退職慰労引当金	14,218	16,737
当座貸越	1,797,429	1,637,488	その他の引当金	2,727	1,973
その他資産	334,386	217,749	債務保証	27,354	22,094
有形固定資産	188,867	170,197	負債の部合計	24,721,409	24,637,567
無形固定資産	5,242	5,125			
繰延税金資産	62,346	72,003	(純資産の部)		
債務保証見返	27,354	22,094	出資金	221,983	223,722
貸倒引当金	△ 203,907	△ 214,560	利益剰余金	1,383,478	1,427,572
(うち一般貸倒引当金)	(△ 87,178)	(△ 88,084)	評価・換算差額等	14,277	3,495
(うち個別貸倒引当金)	(△ 116,729)	(△ 126,476)	純資産の部合計	1,619,739	1,654,790
資産の部合計	26,341,148	26,292,357	負債及び純資産の部合計	26,341,148	26,292,357

損益

単位:千円

科目	22年9月末	23年9月末
経常収益	309,117	287,856
業務収益	308,861	287,600
資金運用収益	289,917	275,847
(うち貸出金利息)	(245,357)	(231,893)
役務取引等収益	14,318	11,382
その他業務収益	4,624	371
臨時収益	256	255
経常費用	256,250	249,361
業務費用	254,197	247,462
資金調達費用	21,036	12,459
(うち預金利息)	(20,958)	(12,396)
役務取引等費用	31,266	29,544
一般貸倒引当金繰入額	-	-
経費	201,623	205,454
臨時費用	2,052	1,898
経常利益	52,867	38,495
業務純益	54,663	40,138
コア業務純益	50,362	40,102
特別利益	10,343	1,958
特別損失	24	66
税引前当期純利益	63,186	40,386
法人税、住民税及び事業税	9,399	12,427
法人税等調整額	9,910	△ 140
当期(中間)純利益	43,876	28,099

諸利回・諸比率

	22年9月末	23年9月末
資金運用利回	2.29%	2.18%
貸出金利回	3.11%	2.93%
預け金利回	0.73%	0.69%
有価証券利回	1.56%	1.56%
資金調達原価率	1.85%	1.82%
預金利回	0.17%	0.10%
総資金利鞘	0.44%	0.36%
預貸率(末残)	66.15%	65.99%
(平残)	65.64%	66.13%
預証率(末残)	6.64%	7.43%
(平残)	6.64%	7.83%

有価証券の時価情報

単位:百万円

	貸借対照表計上額	取得原価	差額
株式	69	94	△ 26
債券	1,746	1,714	32
国債	424	399	24
地方債	—	—	—
短期社債	—	—	—
社債	924	914	9
その他	397	399	△ 2
合計	1,816	1,811	5

(注) 時価は、9月末日における市場価格等に基づいています。

なお、その他は「外国証券」となっています。

6. 金融円滑化の状況

当組合で事業資金のご融資をご利用いただいている中小企業者のお客さまが、不安定な経済情勢の影響等によりご返済が困難となった場合や、当組合で住宅ローン等をご利用いただいているお客さまが、勤務先の業績悪化等のご事情により収入が減少し返済が困難となった場合には、当組合の本部と各営業店の「金融円滑化相談等窓口」等において、返済方法の見直し等のお申込み・ご相談に適切な対応を行っております。

なお、平成 21 年 12 月 4 日から平成 23 年 9 月 30 日までの中小企業金融円滑化法第 4 条・第 5 条に基づく措置の実施状況は以下の通りとなっております。

＜貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の件数と金額＞

[債務者が中小企業者である場合]

(単位: 件、百万円)

	21 年 12 月末		22 年 3 月末		22 年 9 月末		23 年 3 月末		23 年 9 月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	21	192	84	595	172	1,310	299	2,345	368	2,915
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権	6	84	13	133	34	284	53	427	90	683
うち、実行	2	6	12	110	33	261	52	404	88	627
うち、謝絶	—	—	1	23	1	23	1	23	1	23
うち、審査中	4	78	—	—	—	—	—	—	1	30
うち、取下げ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権	15	107	71	461	138	1,025	246	1,918	278	2,232
うち、実行	15	107	60	392	129	969	233	1,845	264	2,155
うち、謝絶	—	—	1	1	6	14	6	14	6	14
うち、審査中	—	—	9	33	2	7	3	12	4	16
うち、取下げ	—	—	1	34	1	34	4	47	4	47

[債務者が住宅資金借入者である場合]

(単位: 件、百万円)

	21 年 12 月末		22 年 3 月末		22 年 9 月末		23 年 3 月末		23 年 9 月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	2	5	5	25	6	41	7	49	11	78
うち、実行	—	—	4	17	5	33	6	41	10	70
うち、謝絶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち、審査中	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—
うち、取下げ	—	—	1	8	1	8	1	8	1	8

7. 地域貢献活動

＜地域貢献に関する経営方針＞

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員皆様の社会的・経済的地位の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めます。

◆顧客の組織化(ますしん 友の会)とその活動状況

当組合で年金を受給されている皆様等で組織され、年1回の旅行を実施しております。

23年度(H23.10.18～H23.10.19) ～但馬の小京都・出石散策と夢千代日記の里 湯村温泉～



[出石・辰鼓楼]



[出石願成寺]



[長楽寺・但馬三大仏]

◆大学での「金融論」の講義



23年4月から山口県萩市の山口福祉文化大学で理事長が教壇に立ち「金融論」の講義を行いました。非常勤講師として、1人で2単位15回の講義を受け持ったのは信用組合業界人として初めてのケースです。

◆海岸清掃活動



◆カーブミラー清掃活動



◆献血運動



◆ゆかた祭り(綱引き大会)



◆土曜夜市(縄跳び大会)



コーポレートスローガン

「おつきあい まごころで」

地域に愛される
信用組合を目指しています。

◆三輪車耐久レース



島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号

TEL 0856-22-3030 FAX 0856-23-6250

E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp

<http://shimanemasushin.com/index.php>